


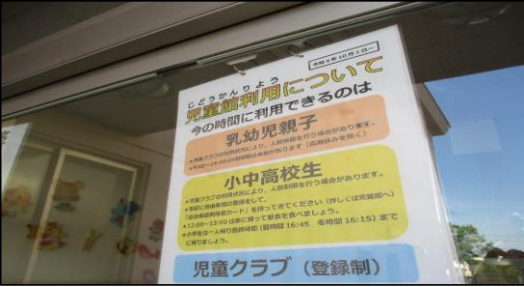
接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
仙台市子育てふれあいプラザ のびすく泉中央 ※一般社団法人マザー・ウイングが運営	利用者懇談会にて、ひろばにある子どもの名札シールは交流のきっかけになり良いという声がある一方、名札シールがあることを知らない人もおり周知されていないので、お知らせしてほしいという要望があった。スタッフから新規登録者や来館者に名札の存在を声掛けし、つけたい人に周知するようにした。	スタッフの声掛けにより、子どもに名前シールをつけたい人は積極的に利用し、利用者同士声を掛け合うきっかけになり、親子の交流が生まれている。	令和5年2月～
仙台市子育てふれあいプラザ長町南 ※特定非営利活動法人ワーカーズコープが運営	情報コーナーの充実。利用者が見やすく手に取りやすいようにした。	利用者が見やすく、見たくなるようなコーナーになったのはもちろん、情報を提供する側も探しやすくなり、相談時等情報提供がスムーズになった。	令和4年5月
仙台市子育てふれあいプラザ長町南 ※特定非営利活動法人ワーカーズコープが運営	赤ちゃんひろばの開放	震災の修繕が終わったことと、コロナの制限の緩和に合わせて解放したが、コロナ禍以前は大きなお子さんも出入りしてしまっていて、利用者からご意見が上がっていたこともあり、仕切りを設けて、明確な掲示をし、声かけも行うことで、0歳児のママを中心にゆったりとおしゃべりをしながら楽しんでもらっている。	令和5年3月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
高森児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	<p>・トイレのスリッパが脱ぎっぱなしになっていることが多かったため、置き場所が分かりやすいように、表示をした。</p> 	<p>・脱いだとき、前より意識して揃えておくようになった。揃えておかないのを見つけた子が、きれいに揃えている姿が見られるようになった。</p>	令和4年7月
七郷児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	<p>遊戯室に網戸がない窓があり、蜂の侵入が相次いだため、網戸を設置した。</p>	<p>窓を開けても虫や蜂の侵入の心配がなくなり、利用者が安心して過ごせるようになった。</p>	令和4年6月
七郷児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	<p>コロナ感染防止の対策ごとに利用できる対象や利用のしかたが変わるため、その都度、利用のしかたや利用できる区分(乳幼児親子、児童クラブ、等)を外から見えるように玄関に表示した。</p>	<p>入館する前に利用できるかどうか、利用できる時間帯等がわかることにより、利用者が安心して気持ちよく利用できるようになった。</p> 	令和4年4月～

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
七郷児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	窓からの日射しが強く、直射日光が廊下に差込み、屋内全体が高温になるため、廊下の窓に簾を設置した。	直射日光が差し込むことがなくなり、以前に比べると暑さが和らいだ。簾の雰囲気があると好評である。 	令和4年8月
七郷児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	サテライトの玄関付近が暗くて危険なので、玄関にライトを設置した。 足元がよく見えるようになり、転倒等の危険が改善された。また、ライトの明るさで玄関外にいる人の顔が見え、迎いの保護者の確認がしやすくなり、不審者対策上の心配も改善され	足元や周囲が明るくなり、よく見えるようになったため、ケガや防犯上の心配が減り、安心して利用できるようになった。	令和4年11月
西中田児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	0歳児親子対象の定例行事の参加方法を、事前申込み制から自由参加制に変更した。小さなお子さんの場合は予定がなかなかたたず、申込みもキャンセルなどの変更もいちいち面倒だという利用者の声に対応した。 	月1回の月曜日開催で、気軽に参加できるようになったと好評を得ている。 また、他の月曜日も自主的に集まり交流する保護者も増え、保護者同士の輪も広がっている。 	令和4年9月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
鶴が丘児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	館庭の土手が削られ、段差や木の根で怪我をする危険があったため、ボランティアの手も借り、土嚢を多数積んで補修した。	安全に遊ぶことができるようになり、鬼ごっこなど遊びの場も広がったため子ども達が喜んでいる。	令和4年6月
鶴が丘児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	館庭に日影が少ないため、日差しが強い日にタープを張り、ベンチを設置した。	特に乳幼児の保護者から外遊びがしやすくなったとの声をいただいた。	令和4年7月
鶴が丘児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	地域にイノシシが出没するようになり、夕方からの児童クラブ迎え時に保護者が不安になる状況を改善するため、地域からの情報をすぐに保護者宛てにメール配信した。出現した場合は警察に協力を求めた。更に敷地境界付近にバリケードを設置し、駐車場から正面玄関に向かう通路と、東側階段付近に、投光器と人感センサーを設置し明るくした。	保護者がすぐに情報を知ることができるようになり、安心して迎えに来ることができた。明るくなったことでイノシシの出没防止に役立ち、また足元が明るくなったことで安全面も向上した。	令和4年11月
南光台東児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	猛暑の日が続いたことから、熱中症対策として玄関前のテラスと階段にミストシャワーを設置した。	ホース式で管理が容易な物を採用したため、設置や移動を状況に応じて行えるようになった。来館する乳幼児親子や児童クラブの小学生にも「涼しい」と好評である。	令和4年7月
向陽台児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	児童館西側の樹木支柱に取付けていた簡易センサーライト(1か所)を建物に直接取付け型のタイマー式LEDライト(3か所)に替えた。	夕方から夜間のお迎えに来る保護者の通路が明るくなり安全面・防犯面が向上した。保護者から「明るくなり、安心ですね」という声が複数伝えられた。	令和5年3月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

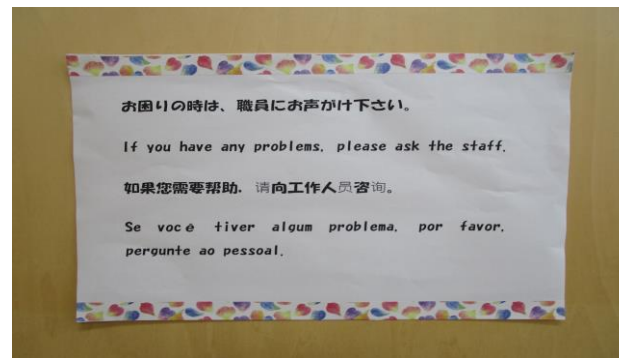
【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
長命ヶ丘児童センター ※(公材)仙台ひと・まち 交流財団が運営	長命ヶ丘連合町内会からのご依頼により、連合町内会婦人部と協力、子どもから地域の大人までを対象とした長命音頭の練習会を開始した。	従来の練習会場である長命ヶ丘市民センターに参加できなかった、ご高齢の方やお近くの方、夜間の練習時間に参加できない小学生等が、合同で練習できる場の設定となった。	令和4年11月 令和5年2月
愛子児童館 ※(公材)仙台ひと・まち 交流財団が運営	遊戯室の窓にストッパーを設置した。	幼児や小学生が窓から身を乗り出す事がなくなり、開け閉めの際、指をはさめて怪我をすることがなくなった。利用者から安心して子どもをあそばせる事ができると評価を得ている。	令和4年5月
寺岡児童センター ※(公材)仙台ひと・まち 交流財団が運営	不審者情報もあり、夜間正面玄関が暗いことから、玄関先にセンサーライトを設置した。	延長の保護者から「明るくなり、開錠されるまでの待ち時間安心できるようになった」「特に冬場、子どもを守るためにも安心できる」との声が保護者から聞かれた。防犯カメラを設置しているが、センサーライトにより人物を識別できるようになった。	令和5年2月
川前児童館 ※(公財)仙台ひと・まち 交流財団が運営	駐車場に車止めブロックの設置と反射シールの設置をして、安全にそして整然と駐車できるようにした。	駐車場での事故防止をはじめ、お迎えに来る保護者が安全に駐車できるようになった。暗くなっても場所がはっきりして駐車しやすくなった。	令和5年2月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>川前児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>正面玄関の屋根に雪止めの設置によって、落雪防止をおこなった。</p>	<p>雪が積もってもストレートに落下せずに安全に下を歩くことができる。お迎えにくる保護者も安全になった。</p>	<p>令和5年2月</p>
<p>黒松児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>日本語があまり得意ではない来館者に向けて、日本語・英語・中国語・ポルトガル語でのメッセージを掲示した。</p>	<p>まだ具体的な反響は無いが、職員への声掛けがしやすくなることを期待している。実際に声を掛けられた時に、言葉の問題で回答できなかった場合は、仙台国際センターのサポート電話等を利用して解決を図りたい。</p>	<p>令和4年7月から</p>



接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>南中山児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>・駐車場の白線が消えかかっていたので引き直した。 ・駐車場の各スペースに数字でナンバーを書き入れた。</p> 	<p>・各駐車スペースがはっきりしたため、より安全に利用できるようになった。 ・利用者に駐車場を案内する際「〇番の駐車場をご利用ください」とお知らせできるようになった。</p> 	<p>令和4年5月</p>
<p>南中山児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>・地域や小・中学校とともに、「石巻ど根性ひまわり」を育てた。バス通りに面した花壇に植え、フェンスに「石巻ど根性ひまわり」の掲示をした。</p> 	<p>・バスを利用する地域の方々が、ひまわりや掲示をご覧になり、「ひまわり、いいですね」と、よく声をかけてくださった。 ・児童クラブの子どもたちが、ひまわりの成長に興味をもち、つぼみができたこと、花が咲いたことなどを職員に話してくれた。</p> 	<p>令和4年6月～</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>南中山児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>・子どもたちが育てたマリーゴールドの花苗で、バス通りの花壇に「みなみ中山」と『花文字』を描いた。 ・「花文字」の説明をフェンスに掲示した。</p> 	<p>・花文字はバス停のすぐそばにあるので、バスを利用する方が日常的に見てくださった。職員が水かけや草取りをしていると、バス利用の方や地域の方々から声をかけていただくことが多かった。</p>  	<p>令和4年5月～</p>
<p>南中山児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>・玄関から見える壁面に、地域の大人対象のポスターやお知らせ、乳幼児対象のお便りを掲示した。 ・掲示物は回転良く貼りかえ、情報が効率よく発信できるよう工夫した。</p> 	<p>・コロナ感染症対策のため、児童クラブの保護者もお迎え時に玄関で待っていただいている。情報を伝える貴重な機会が「玄関スペースでの待ち時間」となっている。玄関に掲示コーナーを設置してから、お便りやカードなどに興味をもたれ、手に取って持ち帰ってくださる方が増えた。</p>  	<p>令和4年6月～</p>



接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【こども若者局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>南中山児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>・玄関の受付スペースに、子どもたちが育てた花で職員がアレンジメントを作り、飾っている。</p> 	<p>・玄関がとても華やかになり、児童センターを訪ねてくださる方々に大変好評となっている。高価な花ではないことが、かえって親しみを感じさせていると思われる。</p>  	<p>令和4年8月～</p>
<p>福室児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>親子室に本棚がなかったので、親子室にカラーボックスを使用した本棚を設置した。</p>	<p>利用者の乳幼児親子から大変喜ばれた。長期休業日などだと図書室でゆっくりと絵本を読むことができなかったが、親子室に設置したことでゆっくりと読むことが出来るようになった。</p> 	<p>令和4年5月</p>